

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

収穫前防除 ～コナジラミ対策～



タバココナジラミ

大きさは約0.8mm。最適温度は25～30℃。
排泄物が付着した葉や果実にすす病が発生すると商品価値が下がってしまう。
作物によっては、ウイルスを媒介する危険がある。



すす病(ナス)



オンシツコナジラミ

大きさは約1.2mm。最適温度は20～28℃。
寄生する植物が多いため、多作物や雑草からの飛来によって多発する。
メロン黄化病ウイルスを半～永続伝搬する。



IRAC	対象害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数	
						ミツバチ	マルハナ
4A	アブラムシ類・コナジラミ類 アザミウマ類	アルバリン顆粒水溶剤	3,000倍	3日前	2回	14日	14日 (加22)
4A	アブラムシ類・コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ	ベストガード水溶剤	1,000～2,000倍	7日前	3回	6日	10日
4C	アブラムシ類・コナジラミ類	トランスフォームフロアブル	1,000～2,000倍 (アブラムシ類:2,000倍)	前日	3回	10日	2～5日
5	コナジラミ類・アザミウマ類、 ウリノメイガ・ハモグリバエ類	ディアナSC	2,500～5,000倍 (コナジラミ類:2,500倍)	前日	2回	3日	1日
6	コナジラミ類・アザミウマ類 ウリノメイガ類・ハモグリバエ類	アフーム乳剤	2,000倍 (アザミウマ類:1,000～2,000倍)	前日	2回	2日	2日
9B	アブラムシ類・コナジラミ類	コルト顆粒水和剤	4,000倍	前日	3回	訪飼 不可	7日

+ 病害対策にはこちら！

対象病害虫によって希釈倍率が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

FRAC	対象害虫	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数	
								ミツバチ	マルハナ
7	うどんこ病・つる枯病	アフエットフロアブル	○	—	2,000～4,000倍 (つる枯病:2,000倍)	前日	3回	0日	1日
U17	べと病	ピシロックフロアブル※	○	—	1,000倍	前日	3回	0日	0日



似ているこの症状はどんな病気？ ～つる割病・つる枯病～

※うり類登録

【つる割病(*Fusarium oxysporum*)】

下葉の萎れや黄化が見られ、茎に褐色条斑を形成し、白～淡橙色のカビが発生します。被害部にヤニが発生することもあります。つるを切断すると導管に褐変が見られます。

特に果実肥大期に発生することが多く、4～5日で枯れあがることもあるため注意が必要です。



【つる枯病(*Didymella bryoniae*)】

茎や葉、果実に発生し、茎では地際部や節部に多発します。被害部からはヤニが発生、進行すると小黑粒を多数形成します。茎の皮層部で発生し、維管束まで及ぶことは少ないです。

果実では成熟期に、黒褐色でややへこんで割れ目のある0.5～1cmの病斑が形成されます。



※キュウリ